

## (2) 景観特性

### 1) 甲府市を取り巻く骨格的景観

甲府市は、南に富士山、北に金峰山、八ヶ岳連峰、北東方向に大菩薩嶺、西に南アルプス連峰の山々に抱かれた盆地特有の景観を有しており、それら市街地の後背に広がる山並みへの眺望景観や山や高台から見た甲府盆地の景観は、市民をはじめ甲府を訪れる多くの人々に甲府の景観を印象深いものにしており、甲府市の骨格的な景観と言えます。

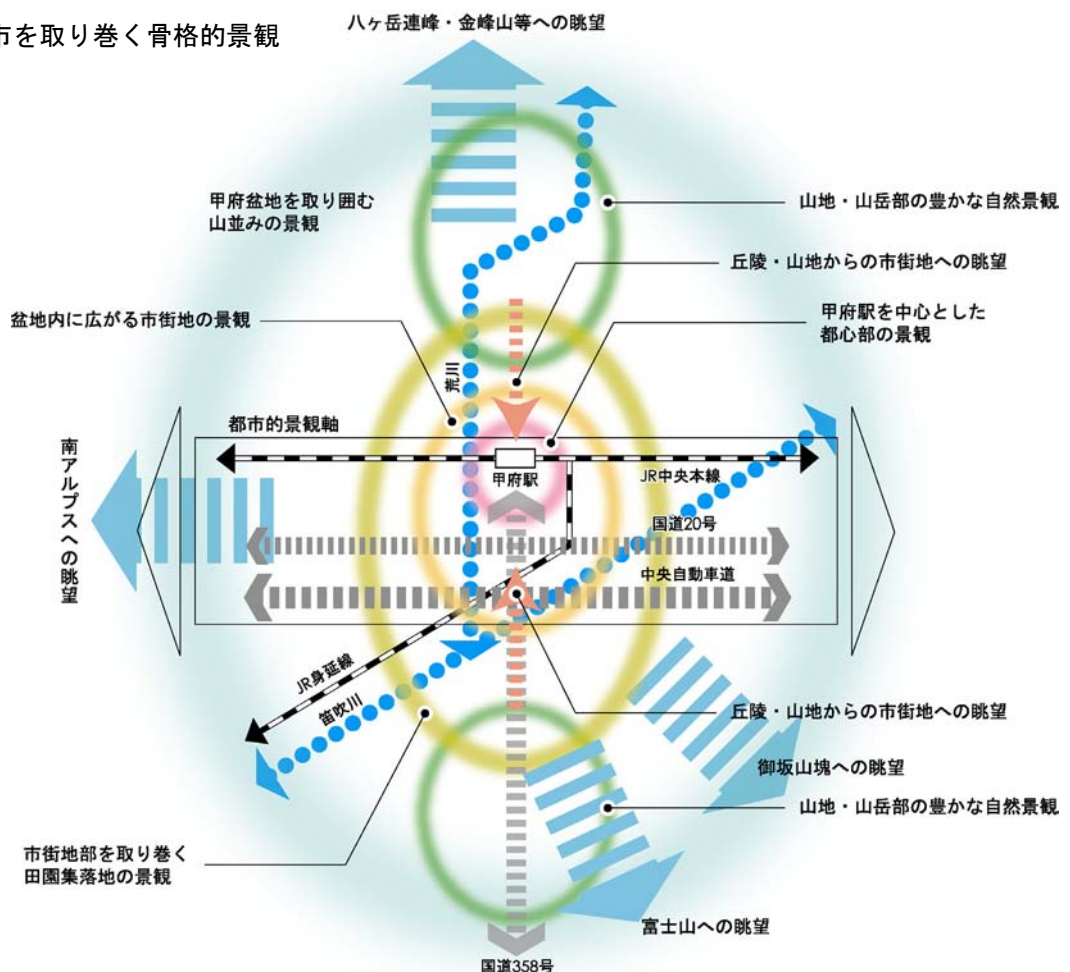
また、荒川、笛吹川などの山あいや田園を流れる河川景観も、多くの市民が魅力を感じる骨格的景観軸を形成しています。

一方、首都東京をはじめ広域的な地域連携を強化しながら、拠点都市甲府の発展を支えてきた JR 中央本線及び身延線の鉄道軸、中央自動車道、国道 20 号の道路軸など、都市の骨格軸ともなる都市的景観軸があります。

さらに、JR 甲府駅を中心に歴史資源と一体となった広域的拠点としての都心部の景観、盆地内に広がる市街地の景観、それらを取り巻くような田園集落部の景観、さらにその外側に広がる市域北部や南部の山地・山岳部の景観など、かなり明確な面的な景観構造を有しています。

このような甲府市を取り巻く骨格的景観を前提に、市全体や地域の景観特性（ポテンシャル）を以下に整理するものとします。

◆図一 甲府市を取り巻く骨格的景観



## 2) 市全体の景観特性

### 特性1:市民の原風景となっている盆地特有の眺望景観や豊かな緑と水辺等自然景観

#### 【眺望景観】

甲府市は、盆地中央にあることから、八ヶ岳連峰、秩父連山、御坂山系、南アルプスなど四方を多くの山で取り囲まれ優れた眺望景観に恵まれています。

甲府盆地からの北側は、八ヶ岳・茅ヶ岳・金峰山を望み、南側は富士山をはじめ御坂山系などが続きます。東側は、愛宕・秩父連山、西側は南アルプスの白根三山・鳳凰三山・駒ヶ岳・楡形山などを望みます。

また、丘陵地等から市街地の眺めは、山々に抱かれた盆地の特徴的な景観を望むことができます。夜には市街地の明かりが「宝飾の街」を彷彿とさせます。

#### 【自然景観】

甲府市は緑と水辺等の豊かな自然景観に恵まれています。

市の北部・南部に広がる山林・山麓地帯は、秩父多摩甲斐国立公園の特別地域・特別保護地区が設定され、森林資源、貴重な動植物、数々の名勝や天然記念物という豊富な自然資源にも恵まれています。

市街地北部の丘陵地、果樹園は、市街地からの良好な眺望景観の重要な要素となっています。また、水田等の農地はのどかな田園景観を呈しています。

遠景の山並みと一体となつてのびやかな景観を呈する笛吹川をはじめ、荒川、濁川、相川などの市街地内を流れる河川は貴重な水辺空間となっています。

さらに、ほとんどの市民が訪れたことのある御岳昇仙峡をはじめ、能泉湖（荒川ダム）、千代田湖、芦川溪谷などは周辺の山林・山麓と一体となつて、観光資源としても貴重な自然景観を呈しています。



▲甲府城跡からの眺望景観



▲和田峠からの夜景



▲斜面部に広がる果樹園の景観



▲遠景の山並みや富士山を眺望できる荒川河川空間

**特性2：県都にふさわしい風格とにぎわいを創出する歴史景観と都市景観**

**【歴史景観】**

甲府の礎が築かれた戦国時代、城下町甲府の繁栄を見た江戸時代から脈々と続く歴史の中で育まれた景観は、甲府城跡（舞鶴城公園）・甲府市歴史公園や武田神社、甲斐善光寺等の史跡、神社・仏閣をはじめ、山梨県庁別館（旧館）や法人会館（旧甲府商工会議所）などの重厚で風格のある歴史的建造物に見ることができ、古くより周辺地域の中心地であった甲府にふさわしい歴史景観を呈しています。

それらの歴史的建造物は、市街地内にも多く見られることから、近代的な都市景観との対比が独特の景観を創出しています。

また、甲斐の国と駿河の国を結ぶ街道であった「中道往還」や太古の息吹を感じる曾根丘陵周辺に見られる古墳群なども、甲府の歴史景観を構成する重要な資源となっています。



▲甲府城跡（舞鶴城公園）



▲武田神社

**【都市景観】**

甲府市は、広域的にも行政、経済、文化、教育など、総合的な都市機能が集積する都市として発展しています。

特に JR 甲府駅を中心とした中心市街地においては、多様な人々が行き交う JR 甲府駅、多くの市民が利用する商店街、緑豊かな平和通りなど、「まちなか」としてのにぎわいある都市景観が形成されています。

また、JR 甲府駅北口地区においては、甲府の新たな顔としてのまちづくりが進められています。



▲中道往還



▲JR 甲府駅南口



▲中心市街地



▲平和通り



### 特性3:観光客等来訪者にアピールする魅力ある観光景観

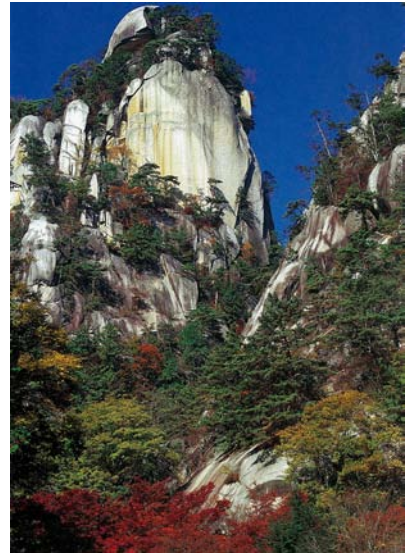
#### 【観光景観】

東京から日帰りも可能な甲府市は、豊かな自然環境や歴史文化資源に恵まれた観光適地として多様な人々が訪れる観光地として有名です。

日本一の渓谷美と名高い特別名勝「御岳昇仙峡」をはじめ、気候風土を活かしたぶどうやももなどの「果樹園」、甲府の歴史を感じる「甲府城跡（舞鶴城公園）」や武田神社、甲府五山をはじめとする「武田信玄公ゆかりの地」などは特に人気の高い観光資源となっています。

さらに、自然・歴史・文化資源を活かした広域的な各種レクリエーション拠点となっている「芸術の森公園」や「曾根丘陵公園」、「愛宕山こどもの国」、「小瀬スポーツ公園」なども立地しているほか、「武田氏館跡」も整備される予定です。

このような観光客等来訪者にアピールする名勝・景勝地、史跡・旧跡、公園あるいは施設は、多くの人々が目にし、甲府市を印象づける要素であることから、甲府市の景観を語る上では重要な景観として捉えられます。



▲御岳昇仙峡



▲果樹園



▲芸術の森公園



▲善光寺



▲小瀬スポーツ公園

特性4:暮らし、働き、学び、憩う場としての生活・地域に密着した日常景観

【日常景観】

これまで示した3つの景観特性は、甲府市の景観の特徴を顕著に表すものですが、一方、市民の生活に密着した日常的に目にする身近な景観資源や景観拠点も数多く存在しています。

神社、お寺や水路周辺などは、子どもの頃によく遊んだ場所として記憶に残る景観資源であるばかりでなく、地域の景観的シンボルとしても位置づけられます。

また、行き先の目印にもなっている大木や火の見やぐらなどは、地域のランドマークとして象徴的な景観資源と言えます。

甲州街道や中道往還など歴史的な街道を有する地域などでは、道筋にたたずむ道祖神や一里塚・道標などが現存しており、また、集落部などにおいては、昔のたたずまいを残す建物が現存しているなど、それらはいにしへの面影を残すとともに、甲府市の歴史的景観の一要素として捉えられます。

季節を感じさせる街角の花木や花壇、行き来に通る並木道などは、地域やまちなみにうるおいを与える貴重な自然資源であるばかりでなく、地域住民等の景観づくりへの取り組みがうかがえます。

さらに、子どもたちが日常的に接する小中学校や、甲府市に多く立地する大学などは、地域に根ざした公共的施設であり、景観拠点として捉えられます。

以上のように、生活・地域に密着した景観資源や拠点は、地域の個性ある景観や地域住民の記憶に刻み込まれた景観を色濃く映し出しているものであり、甲府市の景観特性のひとつとして捉えることができます。



▲古閑町の永泰寺



▲古閑町の旧上九一色郵便局



▲庭先を彩る花木



▲景観拠点の一つである山梨英和大学



▲山梨大学周辺の低層住宅地

### 3) 景観特性ゾーニングと景観軸・景観拠点

甲府市は市町村合併により南北に細長い広大な市域エリアを有することになりました。

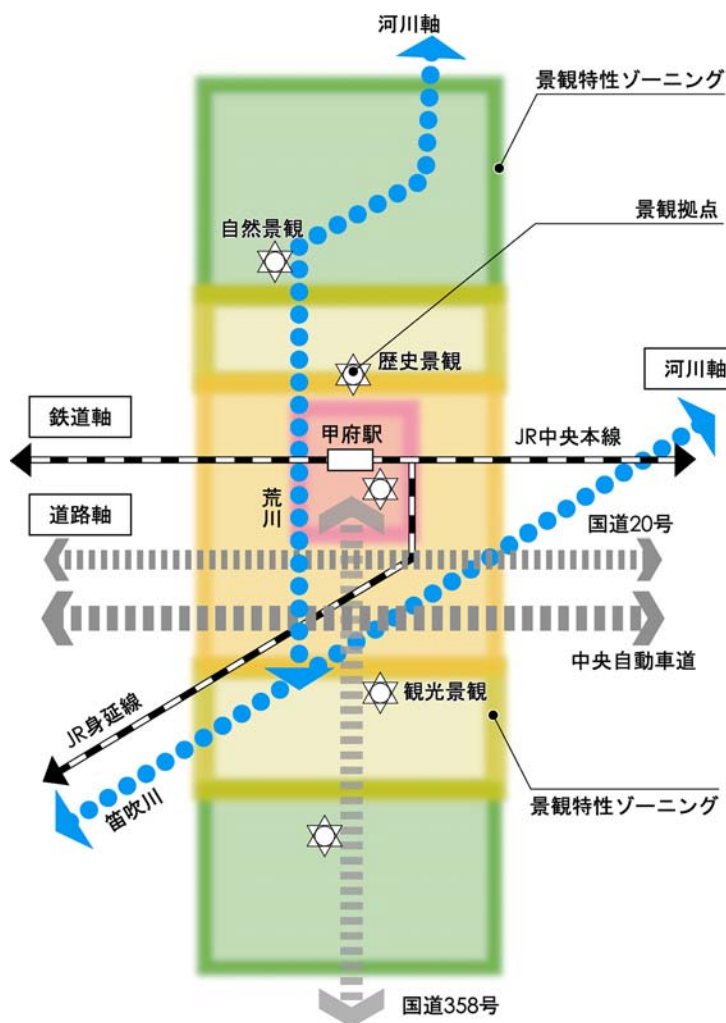
今後、景観形成方針等を検討するにあたり、より地域の実情に根ざした景観づくりを実現するため、市域を面的なまとまりとしての景観特性ゾーンに区分するものとします。

先に示した甲府市の骨格的景観構造をもとに、各地域の景観特性や土地利用、地形的特徴及び政策的区域等により①都心ゾーン、②市街地ゾーン、③田園集落ゾーン、④山裾ゾーン、⑤山地・山岳ゾーンの5つのゾーンに区分します。

また、景観を左右する大きな要素として、主要な河川・幹線道路及び鉄道を「景観軸」として捉え①河川軸、②道路軸、③鉄道軸に区分します。ただし、景観軸は上記ゾーニングに包含されつつ区分されるため、各ゾーニングを構成する一要素として捉えます。

景観特性で示した多くの市民に馴染み深く、かつ知名度も高い自然、歴史あるいは観光施設、公共公益施設をはじめ、地域の歴史や文化を伝える景観資源等の点的な景観要素は、個別に「景観拠点」として捉えるものとします。

#### ◆ 図—景観特性ゾーニング等の考え方



◆表—ゾーン区分及びゾーニングの考え方等

ゾーン名称	ゾーニングの考え方	ゾーン設定の 拠り所
① 都 心 ゾ ー ン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 甲府駅南北周辺を中心市街地ゾーンで、甲府市の顔として先導的、特徴的景観形成が望まれる重要なゾーンであることから、都心ゾーンとして設定します。</li> <li>・ 特に甲府城跡（舞鶴城公園）等の象徴的な歴史資源や県庁、市役所等の拠点的公共施設、多様な人々でにぎわう商店街、現在進められている北口地区のまちづくりなど、多様な景観要素が混在するのが特徴となっています。</li> </ul>	<p>おおむね「中心市街地活性化基本計画」 【旧甲府市：2000年3月】 における中心市街地の区域</p>
② 市 街 地 ゾ ー ン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街化が進行し都市的景観が形成されたゾーンで、住み、働き、学ぶ場等としての適切な景観誘導が重要であると捉え、市街地ゾーンとして設定します。</li> <li>・ 大きくは住宅地、商業地、業務地、工業地などに細分され、各地域の土地利用に応じた景観特性が見られます。</li> <li>・ 景観軸としての河川、道路、鉄道との関連が強いゾーンです。</li> </ul>	<p>おおむね市街化区域</p>
③ 田 園 集 落 ゾ ー ン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街地ゾーン南部に立地する果樹園や水田、畑地等の農地及び集落を中心とした比較的のどかな景観を呈する田園集落ゾーンとして設定します。</li> </ul>	<p>おおむね市街地南部の市街化調整区域及び、中道地区都市計画区域</p>
④ 山 裾 ゾ ー ン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街地ゾーンと北部山地・山岳ゾーンに挟まれる山裾に当たるゾーンで、市街地の後背斜面緑地部として、また、神社仏閣等歴史資源も多く見られる特徴的な景観を有しており、甲府らしい景観づくりを行う上で重要と捉え、山裾ゾーンとして設定します。</li> <li>・ 上記市街地ゾーンと後述の山地・山岳ゾーンとのバッファー（緩衝地）としての役割も有します。</li> </ul>	<p>おおむね市街地北部の市街化調整区域及びおおむね傾斜 3° ～20° の斜面部周辺</p>
⑤ 山 地 ・ 山 岳 ゾ ー ン （ 北 部 ・ 南 部 ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市域北部及び南部の中道地区、上九一色地区を中心とした豊かな緑と水を湛える地帯を山地・山岳ゾーンとして設定します。</li> <li>・ 豊かな緑や水は、市民の原風景ともなる山並みと一体となった甲府市の貴重な景観資源となっています。</li> </ul>	<p>上記以外の市域内エリア （おおむね都市計画区域外）</p>

◆表—景観軸

景 観 軸	主 な 対 象
① 河 川 軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笛吹川、荒川、相川、濁川など</li> </ul>
② 道 路 軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央自動車道、国道 20 号、国道 358 号、国道 52 号、国道 411 号、国道 140 号などの主要な広域幹線道路</li> <li>・ 平和通り、山の手通り、武田通り、アルプス通り、国母通り、けやき通りなどの主要な市街地幹線道路など</li> </ul>
③ 鉄 道 軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 中央本線、JR 身延線</li> </ul>



図一 景観特性ゾーニング及びゾーンごとの景観特性

北部山地・山岳ゾーン

- ・八ヶ岳、金峰山、要害山等山並みの眺望景観は市民の原風景となっています。
- ・広域的な観光拠点ともなっている昇仙峡周辺の自然景観、能泉湖周辺の水辺景観、昇仙峡ライン・昇仙峡グリーンライン等の沿道景観などが特徴的です。

都心ゾーン

- ・甲府駅周辺は、本市の顔となる玄関口、にぎわい拠点として都市景観が形成されています。
- ・北口地区では新しいまちづくりが進められています。
- ・甲府城跡（舞鶴城公園）に代表される歴史的景観に甲府らしさを感じられます。
- ・電車や駅からの眺めは、観光客等来訪者の印象に残る景観として挙げられます。
- ・県都としての多くの公共施設等が立地します。
- ・平和通り等象徴的な沿道景観が見られます。

市街地ゾーン

- ・地域地区を背景に、住宅地、工業地、大学等文教厚生施設地など土地利用、施設立地に応じた景観が形成されています。
- ・景観軸である河川、幹線道路鉄道の景観が地域の景観に影響を与えています。
- ・特に幹線道路沿道における屋外広告物が景観的に目立っています。
- ・地域の特徴ある景観資源が点在します。

南部山地・山岳ゾーン

- ・富士山、烏帽子山等山並みの眺望景観が市民の原風景となっています。
- ・豊かな自然景観や精進ブルーライン等における沿道景観が特徴となっています。

山裾ゾーン

- ・市街地の背景にある丘陵地の緑や果樹園は背景の山並みと一体となって市民の原風景となっています。同時に、観光客等来訪者に印象深い景観となっています。
- ・斜面部にも宅地化が一部進行しています。
- ・武田神社、善光寺等は歴史資源としてかつ観光資源として重要です。
- ・愛宕山こどもの国や湯村温泉など広域的観光資源が立地しています。
- ・大学施設は周辺の景観への配慮がなされています。

田園集落ゾーン

- ・のびやかに広がる水田等の田園景観は市民の原風景となっています。
- ・地域に密着した景観資源が点在しています。
- ・景観軸である河川、幹線道路等が大きく景観に影響を与えています。
- ・高速道路インターチェンジ周辺は車での来訪者にとっての玄関口となっています。



- 凡 例 —
- 《景観特性ゾーニング》
- 都心ゾーン
  - 市街地ゾーン
  - 田園集落ゾーン
  - 山裾ゾーン
  - 山地・山岳ゾーン
- 《景観軸》
- 河川軸
  - 道路軸
  - 鉄道軸
- 市街化区域
- 都市計画区域